

## 大学院修了者を対象とした大学院教育改革に関するアンケート

2008年5月  
日本福祉大学大学院 社会福祉学研究所

### ■ご回答上の注意

- ・本アンケートは、無記名でお答えいただくものです。(但し6頁、問25、26でご協力いただけると回答された方のみご氏名等の記入をお願いしています)
- ・質問文の後の(○は1つ)(○はいくつでも)などの指示にもとづいてご記入ください。
- ・「その他」を回答された場合は、その他( )の括弧中にはなるべく詳細に書いてください。
- ・なお、本アンケートにおける福祉現場とは、保健・福祉・医療・地域など幅広い実践現場を含めております。

### 1. あなたご自身のことについてお尋ねします

#### 問1 大学院を修了された年は？

西暦( )年 3月

#### 問2 あなたが所属していた実践研究は？(○は1つ)

1. A    2. B    3. C    4. D

#### 問3 大学院入学時は？(○は1つ)

1. 学部からの進学    2. 社会人    3. その他( )

#### 問4 大学院入学時には働いていましたか？(○は1つ)

1. 常勤で働いていた  
2. 非常勤で働いていた  
3. 働いていなかった

#### 1と2とお答えの方は、職種をお答えください

- 1.保健・福祉・医療の現場  
2.公務員・行政職員(社協等を含む)  
3.教職員  
4.民間企業  
5.その他( )

#### 問5 現在は働いていますか？(○は1つ)

1. 常勤で働いている  
2. 非常勤で働いている  
3. 働いていない

#### 1と2とお答えの方は、職種をお答えください(次ページにお進みください)

- 1.保健・福祉・医療の現場  
2.公務員・行政職員(社協等を含む)  
3.教職員  
4.民間企業  
5.その他( )



**8. 転職をはかるうえで必要だと思ったから**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**9. 何かに取り組んでみたかったから**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**10. もっと勉強したいと思ったから**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**問 11 あなたが以下の大学院の学びの中で、どのくらい自分のためになったと思いますか？**

(それぞれ○は1つ)

**1. 講義**

1. とてもためになった      2. ためになった      3. 少しためになった      4. あまりためにならなかった

**2. ゼミ（実践研究）**

1. とてもためになった      2. ためになった      3. 少しためになった      4. あまりためにならなかった

**3. 修士論文作成における教員からの論文指導**

1. とてもためになった      2. ためになった      3. 少しためになった      4. あまりためにならなかった

**4. 修士論文を書き上げたこと**

1. とてもためになった      2. ためになった      3. 少しためになった      4. あまりためにならなかった

**5. フィールドワーク（実地研究・見学など）**

1. とてもためになった      2. ためになった      3. 少しためになった      4. あまりためにならなかった  
5. 特にフィールドワークはなかった

**6. 大学院で学んだことで教員や院生仲間とのつながりができたこと**

1. とてもためになった      2. ためになった      3. 少しためになった      4. あまりためにならなかった

**問 12 大学院で学び、どのような成果が得られたとお感じですか？（それぞれ○は1つ）**

**1. 人脈が広がった**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**2. 現場で状況が見えやすくなった**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**3. 物事を客観的に見られるようになった**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**4. 視野が広がった**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**5. ものの見方が多様になった**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**6. 人を説得する力がついた**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**7. まわりの人が自分の意見を聞くようになった**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**8. 論理的に物事を考えられるようになった**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**9. 論理的に物事を話せるようになった**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**10. 現場の将来の展望を描けるようになった**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**11. 以前より自信をもって仕事を進められるようになった**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**12. 自分に自信がついた**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**問 13 本大学院に在籍していたとき、どのくらい通学していましたか？（○はそれぞれ1つ）**

- 1年次⇒**      1. 週1日以内      2. 週2日      3. 週3日      4. 週4日以上

- 2年次⇒**      1. 週1日以内      2. 週2日      3. 週3日      4. 週4日以上

**問 14 上記の通学の実態は、どのくらい負担に感じていましたか？（○はそれぞれ1つ）**

- 1年次⇒**      1. 負担ではなかった      2. あまり負担ではなかった      3. やや負担だった      4. 負担だった

- 2年次⇒**      1. 負担ではなかった      2. あまり負担ではなかった      3. やや負担だった      4. 負担だった

**3. あなたの大学院修了後のことについてお尋ねします**

**問 15 あなたが大学院で学んだことは福祉現場のニーズにあっていたと思いますか？（○は1つ）**

1. そう思う      3と4の回答の方は、福祉現場のニーズとあっていなかったと思う  
2. ややそう思う      内容について具体的にお書きください  
3. あまりそう思わない  
4. そう思わない

**問 16 日本福祉大学や教員が主催する研究会（学内学会を含む）に現在参加していますか？（○は1つ）**

1. よく参加している      2. たまに参加している      3. あまり参加していない      4. 全く参加していない

**問 17 上記の研究会以外に、現在参加している研究会や学習会はありますか？（○は1つ）**

1. よく参加している      2. たまに参加している      3. あまり参加していない      4. 全く参加していない

**4. これから大学院で学ぼうとする人が大学院に求めることについてお尋ねします**

**問 18 本大学院を職場の方や知人に薦めたことはありますか？（○は1つ）**

1. よくある      2. たまにある      3. あまりない      4. まったくない

**問 19 スキルアップやステップアップのために学びたいと思っている人は、あなたのまわりにどのくらいいますか？（○は1つ）**

1. 1人      2. 2人      3. 3人以上      4. そうした人はいない

**問 20 福祉現場で求められる人材を養成するために、大学院においてどのような力を身につけることができれば良いと思いますか？（それぞれ○は1つ）**

**1. 現場が向かうべき今後の方向性を見定める力をつけること**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**2. 具体的な援助技術やスキルを学ぶこと**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**3. 社会福祉に関連する理論や概念を学ぶこと**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**4. 現場での課題を発見する力をつけること**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**5. 現場や組織を変えていく方法を身につけること**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**6. 同分野内での人脈を拡大すること**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

**7. 異分野の人脈を拡大すること**

1. あてはまる      2. ややあてはまる      3. あまりあてはまらない      4. あてはまらない

問 21 これから大学院で学ぼうとする人が、入学を検討する際に何が障壁になると思いますか？  
(あてはまるものすべてに○)

**5. 福祉現場における高度専門職の養成に大学院が果たす役割についてお尋ねします**

問 22 現在、あなたの福祉現場の中で課題となっていることについて、自由にお書きください

問 23 上記の課題を克服していく上で、どのような専門性を必要としていますか。自由にお書きください

問 24 福祉現場における課題や、広義の福祉専門職の専門性の向上に関連して、大学院が果たすべき役割、あるいは大学院に期待する事柄などについて、自由にご意見をお書きください

**6. 今後の大学院教育へのご協力の可能性についてお尋ねします**

問 25 あなたの大学院在学中や修了後の実践経験を、現役の大学院生や各種研究会の場でお話し  
いただくことは可能ですか。可能な場合話していただけるテーマかをお書き下さい

1. ぜひ話してみたい
2. 話してみたい
3. あまり話したくない
4. 話したくない
5. 話したいが難しい



1と2の回答の方はテーマをお書きください

--

問 26 日本福祉大学大学院の今後の教育において、院生のインターシップやフィールド見学であなた  
にご協力をお願いすることは可能ですか。可能な場合どのような現場かをお書き下さい

1. ぜひ協力したい
2. 協力したい
3. あまり協力したくない
4. 協力したくない
5. 協力したいが難しい



1と2の回答の方はどのような現場かをお書きください

--

問 25 か問 26 において、1 か 2 とお答えいただいた方には、ご協力をお願いしたいので、以下の欄に  
記入していただくと幸いです（ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、目的以外に使用  
することはありません）

〔ご協力いただける方のみご記入いただく欄です〕

ご 氏 名	
メールアドレス	

（メールでの連絡を希望されない方は、ご氏名だけ記入いただければ結構です）

**本調査にご協力いただき、ありがとうございました。**